

共同プレス・リリース(仮訳)  
第10回政府間交渉会合  
カダラッシュ、仏2005年9月12日

カダラッシュ、仏2005年9月12日 中国、欧州連合、日本、韓国、ロシア連邦、米国の代表団は ITER 国際核融合エネルギー研究計画をカダラッシュ・サイトにおいて実施することに関する協定を完成させるための作業を再開することを目的とし、2005年9月12日カダラッシュに集まった。

この政府間交渉会合は、2005年6月28日にモスクワで開かれサイト選定に関して共通認識が達成された ITER のための閣僚級会合の後、初めて開かれるものである。

全ての代表団は ITER 建設を全参加極一致のもと最も早急に開始できるための条件作りへの強い意思を、また ITER 機構長等の指名プロセスを確定する作業が進展したことへの満足を表明した。特に、各代表団は、日本が適切な資質を持った機構長候補を指名することへの希望を表明した。

政府間交渉会合において、代表団は ITER 計画実施及び ITER 機構運営のための協定の基となる国際機構の組織・形態、職員、資源及び危機管理を含む法制面・技術面・行政面・運営面の広範な事項について議論を重ねた。

代表団は全ての事項において具体的な進展がはかられたことに合意し、早急に交渉が終結することを希望した。

別の会合で、ITER 代表団はインドの代表団と ITER への参加の可能性に関するインドの関心について非公式な情報の交換を行った。

将来の検討に関する情報交換をフォローアップするため、なんら更なるコミットを行うことなく、技術調査団をインドに送ることが ITER 代表団により合意された。